

組は種々複雑に組合せると面白いものです。

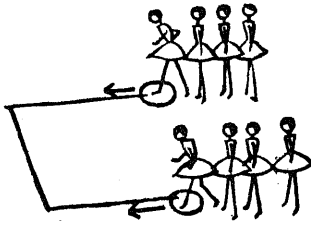
體力の弱いもの、仲々賢く通りぬけるもの、眞剣にやるもの、それ／＼子供達の個性が、體力がはつきりと書き出されます。體力の弱いものも度重なる毎に進歩をみることでせう。

ボンと繩のクリークを渡る足な、敵前何米かのクリークをピョンと一飛びにとびこすだらう姿と、將來を目に浮かべてみました。この様な遊びは無理、例へば子供達の體力外のレベルは却つて

失敗に終りますゆえさける事に致しませう。

陣とり。木蔭の涼しい所にコの字形の線を引いてみました。

兩方の端がそれ／＼陣で、ヨイドンで兩方から線に沿つて走り出します。途中おち會つた所でチャンケンをします。負けたら效力を失ひ後もどりで、勝つた人は一歩も早く敵の陣地へ近づかうとして走ります。その中に負けた方の組の人が、負けたことをすばやくさとり走り出して、その人とあたります。その様にして勝つた人は進み、負けた方はお代りの人で、はやく敵の陣地についた方が勝つて、負けたら、それをすばやくみつめて敵が来ない様にとび出してゆかねば陣をどられてしまひます。敵陣近くになると仲々接戦で、又もう一息の所で負けたりして面白いものであります。



やはり年長組の遊びでありませう。よく説明してはやくその面白味をわかる様に致しませう。

遊 戯

古 澤 静 子

音楽に合せ、一人歩くのさへ危かしく感じられた足ざり、まして多勢揃つて、直線的に歩くはずのものが、何時の間にか、波のうねりの様に曲線的になつてしまつた四月の頃に比べますと、何と颯爽たる姿勢、堂々とした歩調になつた事でありませう。何と彼等の身體に筋肉にビチ／＼した生氣が横溢した事でありませう。

今まで随分歩きました。又駈けました。スキップも致しました。何れも日常生活にある基本的動作である故、是等の正しい取扱ひは最も必要な事でありませう。結構な事でありませうから、今後も大いに續けませう。時間的に、量的に、質的に、期に應じて種々複雑性を加へ、變化あらしめる事に致します。

一連の遊戯に於きましても、單的な物より幾分総合的なものに移り變つて参ります。

子供達は、たゞもう遊戯する事に依り、彼等自身、主觀的に運動の快感を體得するものでありませうが、それは、各人の全身體、全精神の躍動でなければなりません。

従つて足の先から手の指に至るまで、生々とした力が、張りきつて、緊張と解緊の絶え間ない循環の中に、自然的で、どこまで

も伸びくゝとした鮮やかな動作でありたいと思ひます。伸縮自在に、良く自己の身體をコントロールし得る様な能力を養ひたいものであります。身體支配の能力は、生活のあらゆる部門に必要な缺くべからざる事でありますから。

個人の場合によくとも、協同動作になりますと、兎角リズムがみだれ勝になります。(先月いたしました貝拾ひの如き)が軌道をはすさない様、溢れ出る感情と動作は、リズムの中に正しく、美しく表現いたしたいものだと思ひます。その心持ちは、特定の遊戯に限らず、椅子から合圖に依つて立上る際、他人の遊戯を見る時、遊戯が濟んで元の位置に着く時までの心持ちでもあります。

由來、「健全なる精神は健全なる身體に宿る」と言ふ事が云はれます。この言葉は、所謂身體を健全にさへすれば、精神は健全になると解釋される傾向がありますが、健全なる身體の中に、健全なる精神を宿らしめたい。と解釋すべきであります。健全な精神を得んが爲には、健全な身體が必要であり、健全な身體を得んが爲には健全な精神が必要であります。即ち身心一如として健全であるのが、本當の健全であります。

夏とは切つても切れない「お洗濯」「蝿」及び爽涼な「渡し場の船頭さん」「めだか」をいたしませう。汗を出して元氣よく。

『お洗濯』 日本幼稚園協會發行最新作曲幼稚園唱歌集所載

隊形。圓形又は自由隊形

「前奏」 そのまゝ聞く。

「五小節—八小節」バケツ又はタラヒにお洗濯物を入れてスキップで井戸端へ行く。即ちそれ等を持つた自由な表現で、圓周に

そつて右(左)に廻る。自由隊形の場合は好きな方向にスキップで。

「チャップ／＼／＼／＼」お洗濯 母襟盥でお洗濯。赤ちゃんの着物を洗ひます。その場に腰を下し、リズムに合はせながら、自由にお洗濯の動作をする。こし／＼洗つたり、掴み洗ひ、もみ洗ひ、しぼつたり、すゝいだり、色んな風景が出来てくる。

「シャボンのあぶくがぶく／＼と」 あぶくが盛り上る様に、始めは小さく、次第に大きく両手の内外廻旋をする。

「まるでお空の雲のやう」 立ち上り、お空を見ながら、両手を前より上に擧げ、横から下す。

「後奏五小節まで」 お洗濯物を物干にかけませう。二呼間に兩手を上げてお洗濯物を掛ける動作をする。

「同九小節まで」 お洗濯物の皺を伸ばしませう。兩手で縦横に引つ張る。上から下まで充分伸びる様に。

「同十三小節まで」 その場でお洗濯物をたたくリズムに合はせて拍手

「同十六小節まで」 二呼間に一歩づゝ三歩後退して、お洗濯物を眺める。

『蝿』 日本幼稚園協會編 幼稚園新唱歌所載

隊形。圓形

「前奏」 圓周に沿つて左(右)をむく。

「ピカ／＼／＼／＼」蝿がとぶよ。一呼間に一歩づゝ歩きながら、二呼間に一度づゝ左右の手を交互に横から前上に擧げ、上の物を拂ひ落す様に下す。上にゐる蝿を片手で落すのですから、

脊伸びをする位にして高く舉手しませう。上方に頭を向けると共に胸を張つた姿勢が出来る。

「ピーカーピカリ」その場に止り、上體を前傾、兩足を屈膝し、兩手を後に伸ばして、一呼間に一度、兩掌をピカリ〜と開閉させながら次第に體を起す。

「葉つばの陰で光る」各自の廻りを跼足で一廻りし、「光る」の時正面を向き兩手を舉げて、ピカ〜と兩掌を三回開閉する。之は螢をとる動作と、螢になる動作である。螢と言へば、必ずピカ〜光るものである事を思ひ出す。兩手は固く閉じて、大きく開くことに致しませう。

「渡し場の船頭さん」 日本幼稚園協會發行新體幼稚園唱歌所載

隊形。八人乃至十人一組になり、一列縦隊に並ぶ。

動作は、一、二、三節共同じ。

「前奏」 片足を前出し、四呼間に一度づゝ船漕ぎの動作を行ふ。即ち二呼間で上體を前出し、兩臂を前に伸ばし、次の二呼間上體を起すと同時に、兩臂を體前に引寄せらる。

この動作は、船漕ぎ運動の時行ふ様に、皆で力を合せる爲に、前奏のメロデーに合はせながら、「マーエミウシロ」とか「一二三四」とかけ聲をかけながら、調子を合はせてゆきませう。

「渡し場の船頭さんは今朝も早よから船に來て」各組全生連手し、先頭より圓形を作りながら歩く。

「向の岸へ」連手をほゞき、各自兩手を振つて、先頭の者から、圓をときながら、又一列縦隊になつて眞直ぐ歩く。

「行つたり來たり」岸への「へ」の時、廻れ右をして方向をか

へ、「行つたり來たり」で一番後の者が先頭になつて反對の方向に歩く。正常歩で姿勢を正しく、サッサッと歩きませう。

「めだか」 日本幼稚園協會編、幼稚園新唱歌所載

隊形。圓形、一二番共、同動作。

「前奏」圓周(左又は右)を向く。

「スイ〜、〜、スイスイ〜」兩手を行く方向と反對の方向に伸ばし、軽く上下に振りながら、圓周に沿つて一呼間に一歩づゝ歩く。上體は行く方向に傾け、後方に伸ばした兩手を見る。四小節目「イー」の時、兩手を反對側におきかへて伸ばす。

「めだかの行列スイ〜」先と反對の態勢をとつて反對の方向に歩く。八小節目のイーで再び兩手を反對側にもどす。

「一匹二匹三、四匹」二呼間に一度づゝ、ツーステップをしながら、同様二呼間に一度づゝ左右の手を交互に前より上に舉げる。

「皆で仲良く泳いでく」圓心を向き、互ひにお隣の肩に兩手をかけ、圓心に歩いて進む。

「間奏」前奏を弾く。そのまゝ後退し、兩手を下す。

「後奏」初めてツーステップが出て来る。之は二拍子のリズムに合せ、(1)で右足を前にステップし、(ト)で左足を右踵の後に引寄せ、(2)で更に右足を前にステップし、この動作を交互に行ふのである。最初この歩法だけ特に練習することに致しませう。めだか、は、すいすいと可愛らしく泳いで下さい。